

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部長兼血液浄化センター長	坂口 俊文
副医長	高山 東仁
医 員	矢野 卓郎
医 員	田村 渉

—概要—

現在の4人体制も2年目となり、診療内容も充実してきたと感じている。あいかわらず重症患者数も多いが、以前よりは余裕をもって診療できている。引き続き水曜日の応援として、和歌山医大から北医師を派遣していただいております、大いに助かっている。

腎臓内科の主たる業務は、腎臓専門外来、腎臓内科病棟、他科入院の腎機能異常患者の共観、入院透析の管理、腹膜透析外来、ICUでの血液浄化、血液透析用のバスキュラーアクセスの手術および血管内治療である。

腎臓専門外来は月曜日から金曜日まで1診+処置外来1診で行っている。

共観は、他科入院の透析患者さんと、ICUに入室した血液浄化を必要とする患者さんが中心である。共観入院の表のとおり、主科入院とほぼ同数の共観を常に診ている。

金曜日午後からバスキュラーアクセスの定期手術、水曜日午後から血管内治療を行っていたが、血管内治療の依頼が増加したため、月曜日の午後にも血管内治療に充てることが多くなった。症例数は昨年より41例増加している。

研究面では、矢野と田村が西部腎臓学会で2演題発表を行った。

—今年度の成果と反省点—

若手の自主的な研究発表が今年度の研究面での成果である。

—来年度への抱負—

増加する外来に対処するため、地域連携を強化しようと考えている。2月に腎臓病の地域連携で有名な近江八幡市立総合医療センターを見学させていただいた。病棟、透析室の看護師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師、理学療法士の総勢8人で訪問。これを参考に教育入院を含めた地域連携の充実に役立てる予定である。

—実績—

主科入院

入院目的	件数
腎生検	24
ネフローゼ症候群	11
急速進行性糸球体腎炎	5
IgA扁摘後ステロイドパルス	6
電解質異常	3
AKI	2
慢性腎臓病	39
AVF手術	67
透析導入	56
腹膜透析導入	2
PTA(入院のみ)	25
その他	9
計	247

共観入院

共観科	件数
循環器内科	26
心臓血管外科	33
救命診療科	47
外科	15
脳神経外科	24
泌尿器科	15
整形外科	24
血液内科	3
救急科	6
形成外科	5
総合内科・感染症内科	4
耳鼻咽喉科	6
神経内科	2
内科	7
産科	9
口腔外科	3
計	229

血液浄化実績	回
血液浄化センターでのHD	2,123
ICU・EICUでのHD CHDF	779
血漿交換	8
エンドトキシン吸着	5

外来PTA件数：182件